

民主党-物理-気候科学-ジャーナル,労組-企業-農協漁協等,全学連-主婦連関係者等殿。
(2011/12/30)

危機勝負に於ける指導者と組織団結能力=危機将来世界での命運決定要素。
2011年日本は3/11東北大震災-福島原発破綻の大波乱、他方でWカップサッカー女子が世界NO1
米国を逆転優勝、この暗明がトップ,2ndニュースになってる。意外だろうが、実は両者の意味は深い。

[1]:指導者と組織団結能力。

危機勝負に於ける 指導者と組織団結能力 =危機将来世界での命運決定要素	
暗=3/11 東北大震災-福島原発破綻の大波乱	明=Wカップサッカー優勝.
大震災は一つの局所一時的(??)的な危機 実現、だが長期世界規模で見ると 気候変動 進行 こそが震災スケールを遥か超越の人類 の歴史最終審判へ、救済可能性はまだある！	通常では守りは5名、攻めは2名だから勝て ない、サッカー本質はその一点獲得の難しさ、 だから一点獲得で皆が狂喜し、大落胆。 一点獲得は妙技つながりの物語になる。
背景:慢性的1990年後長期不況もあったが、 誰もが戦後経済成長安泰路線で将来危機を 無視、 <u>己利益追求のみの風潮が蔓延</u> 、そこに 突発大危機だからその混乱は極み、福島危機 当初報道は全くの甘い観測のみで危機拡大、 指導者は事態深刻さを知りつも隠蔽、他方で 一時ながら事態救済に全国民的運動へも、	背景:女子サッカーは長く全くの日陰存在にあ り、その長期苦境を脱出すべく、才能経験あ る選手と良指導者が結託、己を克服、チーム 大勝利のみに集中の 強力共通認識を形成 、 個人技と組織技融合のトータルサッカー、 Wカップ優勝以外に救済なしの祈願が結実、 最終ゲームは実力以上の超能力を発現
危機予知と対策指導能力欠如の露呈、	実力以上の勝負能力の発揮、
戦後右肩上がりの慣性下に危機認識欠如	超不遇への共通危機認識を動機に組織団結
不都合研究を認めない指導者体面護持主義、 正義と真実を欠いた社会は破綻する。	勝負-鍵所の共同研究と共通意思疎通 、 ゴールまでに絡げるサッカーの徹底、

上記二つのニュースは全く相反する内容だが、共に共通項は指導者と組織団結力がある。
なぜなら両者ともに"勝利は理に適う、敗北は反理での**闘い**"であるからだ。

[2]:預言。

2011年は国内のみならず世界が大波乱にあった、しかる2012年はそれ以上になるだろう。

<http://blog.livedoor.jp/sky777777777/archives/51955822.html>

苦境環境下で何が地獄と天国に分けるのか？!、一つヒントは以下日月神示予言、戦争よりも怖いのは人の魂、だから日頃から"たま"を磨け、"世界の人と手をつなげ(国常立尊)"と、

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%88%E7%A5%9E%E7%A4%BA>